

丸岡高の動画制作についてアドバイスするOB
教諭の鈴木さん(奥)=11日、坂井市の同校



教員OBが制作協力

編集作業をアドバイス

新型コロナウイルス感染症に対応して県内の学校で在宅授業が始まる中、坂井市の丸岡高では、同校を定年退職した元教師の力を借りながら学校独自の動画作りを進めている。

【1面に本記】

丸岡高でも11日、時間割

に沿った在宅授業が始まり、県教委が配信する動画やプリントなどを使って課題を進めていく。13日からスマートフォンを使い、生徒から質問を受け付けるなど双方向でやりとりする。5月に入り、同校で使う教科書に沿った動画作りを全教科で始めた。文字を大きく見せるため、教師は登

場せず、画面全体にテキストを載せているのが特徴。解説する音声は後から吹き込んでいる。

二つの動画をつないだり、音声を入れ込んだり編集作業が難しいため、今年3月に同校を定年退職するまで11年間、放送部顧問を務めた鈴木秀明さん(60)に協力を依頼。11日も学校を訪れアドバイスした。

独自動画は13日から活用する。島田芳秀校長は「学習に遅れが出ないようオール丸岡高で取り組みたい」と話した。(伊豆倉知)